

U.S. Indicators

発表日: 2023年1月5日(木)

米製造業は小幅縮小しインフレ圧力緩和(12月ISM製造)

～23年1-3月期も米製造業の縮小や財価格の下落が継続する見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

22年12月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、48.4(前月49.0)と0.6%p低下し、市場予想の48.5(筆者予想48.6)を下回った。雇用、在庫が上昇した一方、景気の先行き懸念で新規受注、生産が低下したほか、供給制約の改善により入荷遅延が低下したことで、ISM製造業景気指数は低下した。

拡大縮小の分岐点である50を2カ月連続で下回っており製造業部門の縮小を示しているものの、米国景気後退時のレベルを依然上回っていること等から、米国は景気後退に陥っていないと判断される。雇用、在庫が50台を維持した一方、景気減速に対する懸念を背景に新規受注が50を下回る中、在庫の積み上がりで生産が50を下回ったほか、供給制約の改善継続で入荷遅延が50を下回っていることで、ISM製造業景気指数は米製造業部門の縮小を示す水準に止まった。そのような中、インフレの動向を示す仕入価格指数はさらに低下し、コスト下落ペースの加速を示した。

12月の構成項目別の変化では、雇用、在庫が上昇した一方、新規受注、生産、入荷遅延が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.60%p、在庫が前月比+0.18%pの押し上げ寄与となった一方、生産が前月比▲0.60%p、入荷遅延が前月比▲0.42%p、新規受注が前月比▲0.40%pの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、輸出受注DIが46.2(前月48.4)と低下し50を下回っており、世界経済の減速を受けた輸出の減少ペース加速が示された。輸入DIは45.1(前月46.6)と低下し、輸入の縮小幅拡大を示した。

他方、仕入価格指数は供給制約の緩和や商品市況の下落によって39.4(前月43.0)と低水準に低下しており、インフレ圧力の緩和が強まっていることを示した。

12月の企業からの報告では、需要の減少が多く指摘された。需要面について、非鉄は22年力強く終了しそうと指摘したほか、一次金属は力強く22年を終えたと報告した。また、その他の製造は、全体でサプライチェーンの状況が21年の第4四半期以降大幅に安定し、顧客の需要は非常に強く、23年の見通しは明るいと指摘した。

一方、一般機械では、景気の先行き不透明感を背景に設備投資が先送りされたため、22年4Qの売上が減少したうえ、23年1Qの売上予想を下方修正したと報告された。また、化学は需要が大幅に減少していると指摘。加工金属は売上が鈍化し、23年1Q、あるいは2Q末まで減少が続くと予想されていると報告。電気設備・部品では、新たな中国に対するハイテク規制が事業と今後の計画に影響を与えたと指摘された。

人手不足関連について、コンピューター・電子機器は深刻な熟練労働者不足が既存の労働者に大きな負担を与えているほか、最新の技術を使わない電子部品が依然としてサプライチェーンの主要な問題となっていると報告した。また、食品・飲料・タバコは、小規模なサプライヤーの一部で受注に対

応するための人員確保に苦勞していると指摘した。

12月は、全18業種のうち一次金属、石油・石炭の2業種の拡大にとどまり、11月の6業種から減少した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、石油・石炭の1業種が緩やかに成長した。印刷・関連サポート活動、繊維、非鉄は前月から変わらずとなった。

一方、縮小した業種は、木材製品、加工金属、化学製品、紙製品、プラスチック・ゴム、電気設備・部品、家具・同関連、アパレル・皮革、コンピューター・電子機器、一般機械、食品・飲料・タバコ、輸送機器、その他製造業の13業種に増加した（11月12業種）。

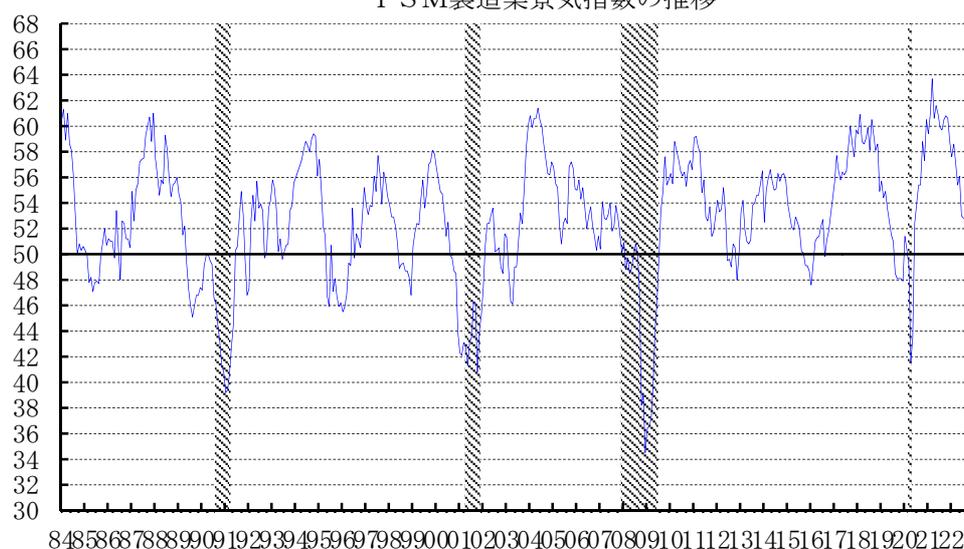
先行きに関して、新規受注が45.2（前月47.2）、受注残が41.4（前月40.0）と前月からさらに低下しており、1－3月期も製造業部門の縮小や財価格の下落が続くと予想される。

I S M製造業景気指数

	総合									
	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入	
21/12	58.8	61.0	59.4	53.9	54.6	64.9	62.8	68.2	53.6	53.8
22/01	57.6	57.9	57.8	54.5	53.2	64.6	56.4	76.1	53.7	55.1
22/02	58.6	61.7	58.5	52.9	53.6	66.1	65.0	75.6	57.1	55.4
22/03	57.1	53.8	54.5	56.3	55.5	65.4	60.0	87.1	53.2	51.8
22/04	55.4	53.5	53.6	50.9	51.6	67.2	56.0	84.6	52.7	51.4
22/05	56.1	55.1	54.2	49.6	55.9	65.7	58.7	82.2	52.9	48.7
22/06	53.0	49.2	54.9	47.3	56.0	57.3	53.2	78.5	50.7	50.7
22/07	52.8	48.0	53.5	49.9	57.3	55.2	51.3	60.0	52.6	54.4
22/08	52.8	51.3	50.4	54.2	53.1	55.1	53.0	52.5	49.4	52.5
22/09	50.9	47.1	50.6	48.7	55.5	52.4	50.9	51.7	47.8	52.6
22/10	50.2	49.2	52.3	50.0	52.5	46.8	45.3	46.6	46.5	50.8
22/11	49.0	47.2	51.5	48.4	50.9	47.2	40.0	43.0	48.4	46.6
22/12	48.4	45.2	48.5	51.4	51.8	45.1	41.4	39.4	46.2	45.1

（出所）I S M : the Institute for Supply Management

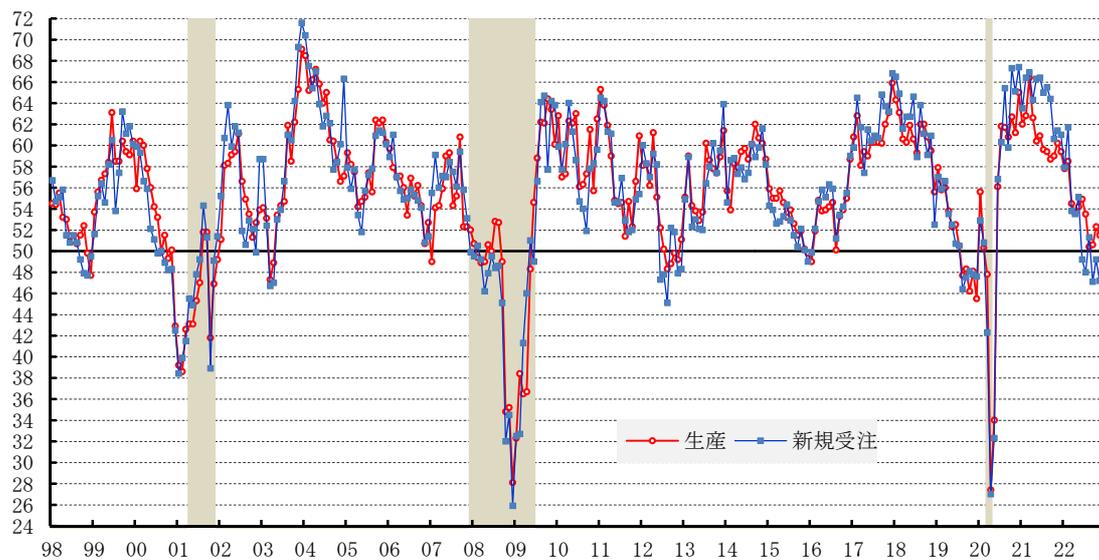
I S M製造業景気指数の推移



（出所）I S M

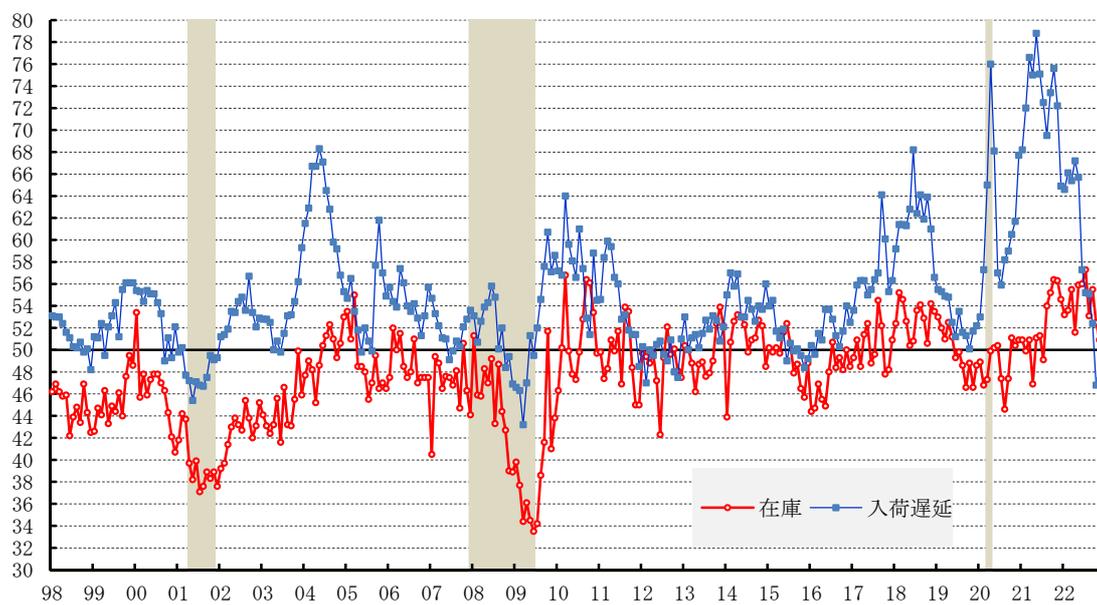
（注）シャドー部は景気後退期。

ISM景気指数の推移



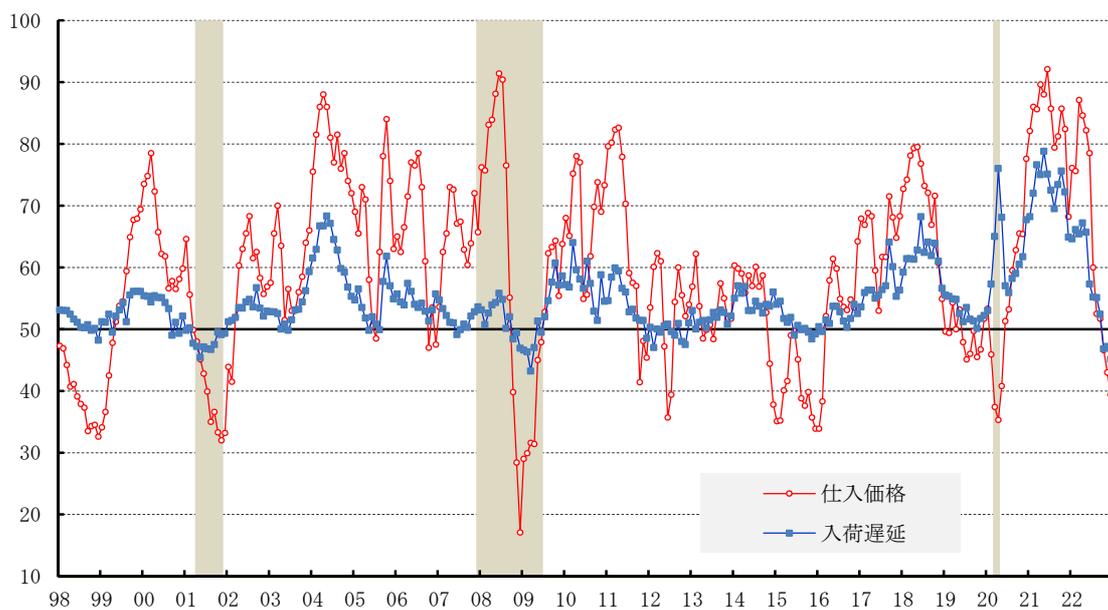
(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

